

第5回 現地会議 in 宮城

【2012年12月04日(火)】

田尻 佳史

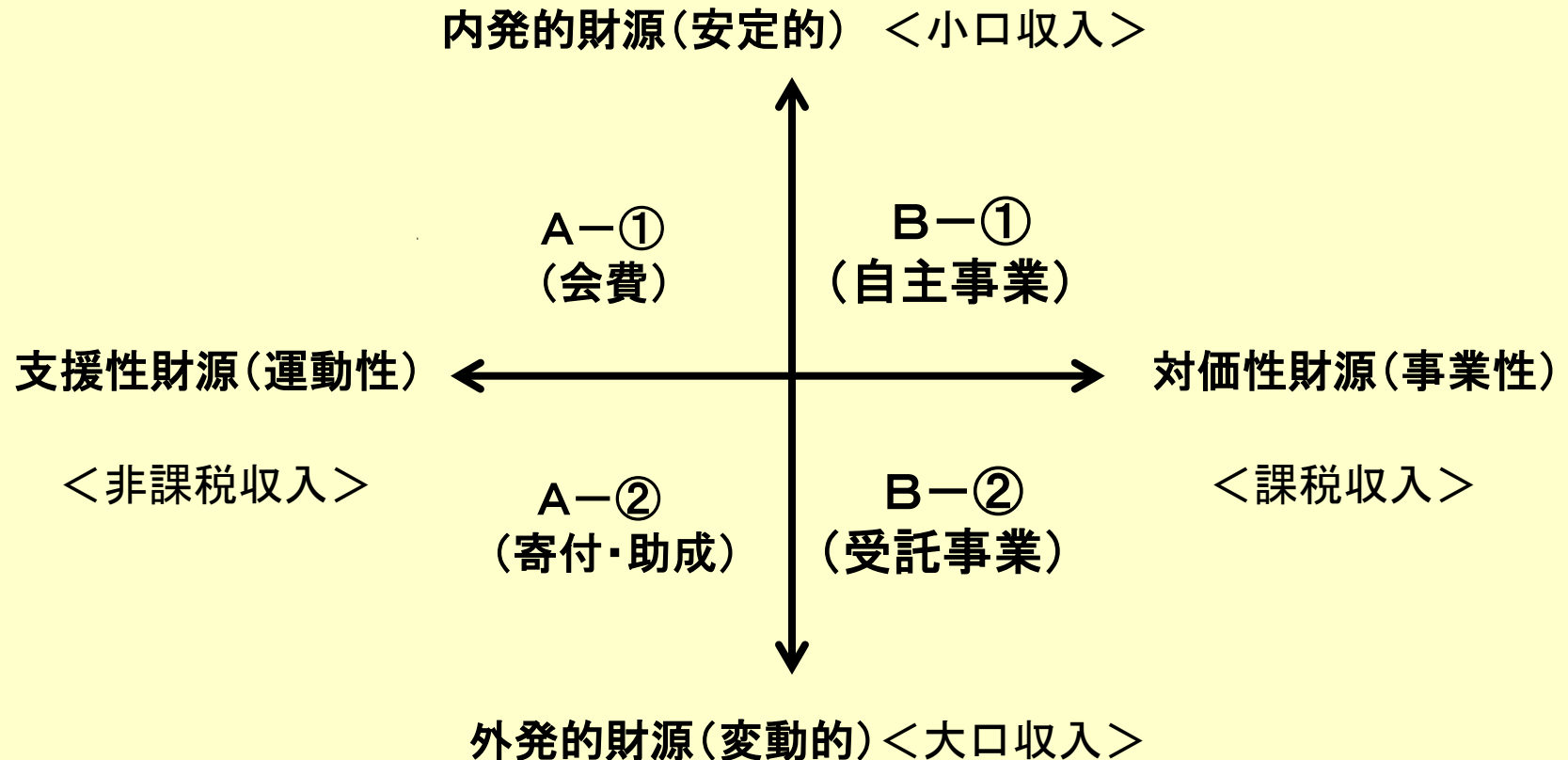
認定特定非営利活動法人

日本NPOセンター常務理事・事務局長

東日本大震災支援全国ネットワーク 代表世話人

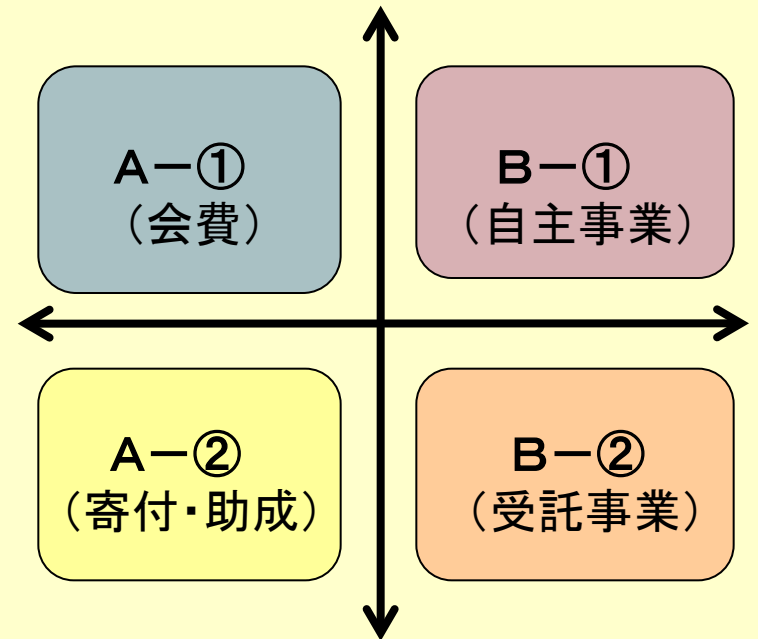
- (1) 活動経費のための資金 (イベントや継続事業)
- (2) 職員雇用のための資金
- (3) 事務所維持のための資金
- (4) 活動拡大のための資金 (スペースやサービスの拡大)
- (5) 物品等の購入のための資金
- (6) その他

(1) 4種の財源の特徴



(2) NPOの財源構成のから見る団体の特徴分類

1. A-①型——運動性・安定的
2. A-②型——運動性・変動的
3. B-①型——事業性・安定的
4. B-②型——事業性・変動的
5. その他(さまざまな組み合わせあり)



(1) 望ましい財政を整えるために

- ① 現在の位置の確認と、課題・問題点の確認
- ② 今後の位置の確認と、到達までの課題の洗い出し
- ③ 努力目標の認識を共通化

(2) 各財源の特徴を理解する

① 会費

- **正会員**：組織の事業に参加する意識が強い（議決権有）
- **賛助会員**：組織を応援する意識が強い（議決権なし）

② 寄付

- **一般寄付**：団体の自由に活用できる資金
- **指定寄付**：事業などを寄付者が指定する資金

③助成(補助)

→各種の助成金制度(自治体、企業、財団、支援組織 等)

④事業収益

→自主事業:団体自らが主体となって実施する事業による収入

→受託事業:他団体の依頼を受けて実施する事業による収入

(3) 広がる助成プログラムを理解する

① 自治体による助成金制度の動き

- ・従来の基金や助成金制度のスタイルの変更
- ・新たな助成制度の設立 → 多様な取り組み

② 企業による助成金制度の動き

- ・企業の社会貢献活動の新たなプログラムとして
- ・企業直接型、企業財団型、企業とNPOの連携型

③ 支援センター等による助成制度の動き

- ・新たな市民ファンドづくり
- ・各支援センターやテーマ別組織による取り組み

(4) 助成金をより良く活用するために

① ステップアップして力をつける

→ 小規模助成 → 中規模助成 → 大規模助成

② 助成事業を自己資金につなぐ

→ 自己資金作りを念頭においた助成の申請

③ 助成制度の主体者の話をよく聞く

→ 各助成制度の特徴をつかみ、情報収集する

→ 助成金一覧を作成(テーマ、申請先、時期、公募額 等)